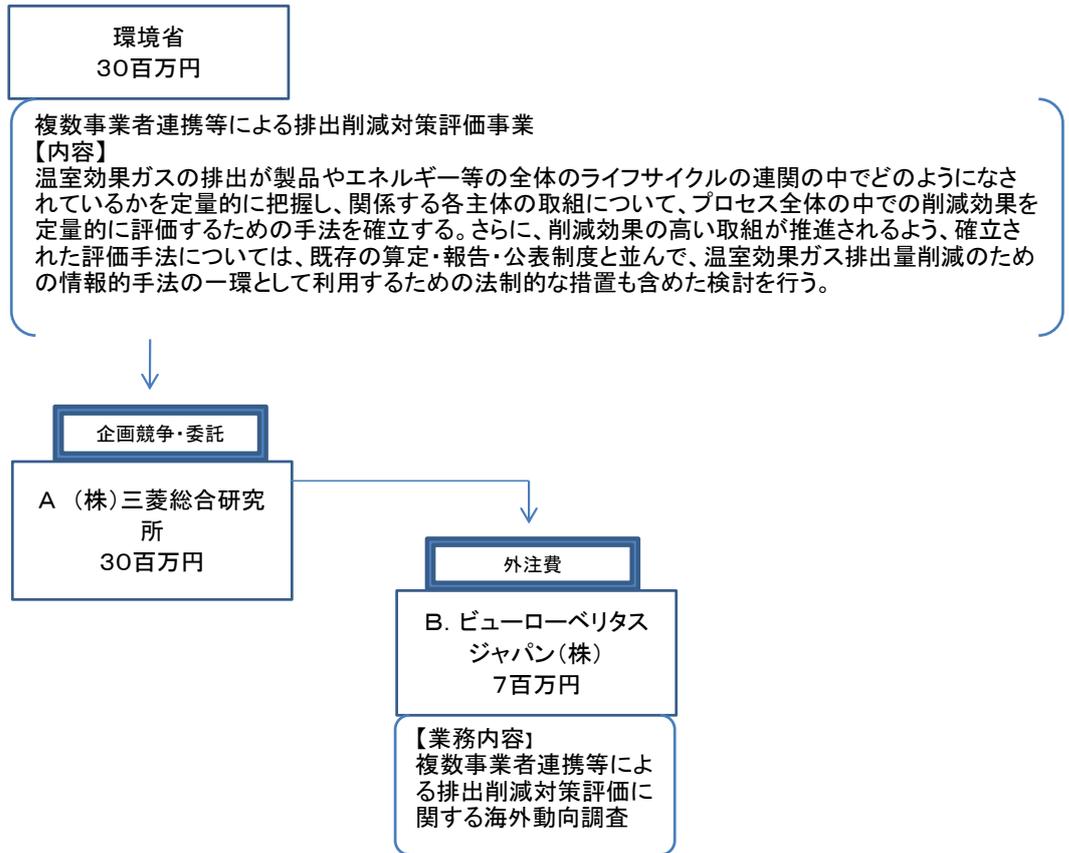


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	複数事業者連携等による排出削減対策評価事業		事業開始年度	平成19年度		作成責任者
担当部局庁	地球環境局		担当課室	地球温暖化対策課		課長 高橋 康夫
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		上位政策	地球温暖化対策の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第3号、 地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第5項		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	温室効果ガスの排出がライフサイクル全体の中でどのような主体の連関によってなされているかを定量的に評価するための手法を調査・検討し、様々な主体の連関による温室効果ガスの排出削減を促進する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	温室効果ガスの排出が製品やエネルギー等の全体のライフサイクルの連関の中でどのようになされているかを定量的に把握し、関係する各主体の取組について、プロセス全体の中での削減効果を定量的に評価するための手法を確立する。さらに、削減効果の高い取組が推進されるよう、確立された評価手法については、既存の算定・報告・公表制度と並んで、温室効果ガス排出量削減のための情報的手法の一環として利用するための法制的な措置も含めた検討を行う。					
実施状況	ライフサイクルでの二酸化炭素排出量の削減効果の評価が必要かつ有効と考えられる組み合わせについて、複数の事例(高張力鋼板を使った自動車、下水汚泥の焼却に伴う廃熱の別事業所における暖房利用など)を抽出するとともに、海外動向調査等を実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	30	30	30	0	0
	執行額	24	5	30		
	執行率	80%	17%	100%		
	総事業費(執行ベース)	24	5	30		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	業務の運用にあたっては、支出先との間で決められる事業計画に沿って行っているとともに、頻繁に支出先との打合せを行っているところであるが、事業目的の実現や効果の発揮の観点から検証をおこなうため、半年に一度程度支出状況等の報告を求めている。				
	見直しの余地	平成21年度で本事業は終了。				
予算監視の所見 効率化チー	その他 (見直し余地欄に記載の通り、当該事業については平成21年度限りで廃止。)					
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)					
	(百万円)					
	19年度	20年度	21年度			
	-	-	-			

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。用途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)三菱総合研究所					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費		14			
外注費	ビューローベリタスジャパン(株) 複数事業者連携等による排出削減対策評価に関する海外動向調査	7			
旅費	職員旅費(国内、海外)	3			
一般管理費		2			
その他	賃金、通訳費用等	2			
消費税		1			
計		30	計		0
B. ビューローベリタスジャパン(株)					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	複数事業者連携等による排出削減対策評価に関する海外動向調査	7			
計		7	計		0